



**山本雅彦先生並びに皆様方には、県政の推進に
あたり格別のご理解とご協力を賜っており、厚く
お礼申し上げます。**

山本先生におかれましては、常に地域の立場に
立って、皆様の声を県政に届けていただくとともに、
県議会の農林水産委員会委員長としてご活躍
いただいております。心から敬意を表しますと
ともに、深く感謝申し上げます。

私は、昨年10月の選挙において、3期目の負託
をいただきました。皆様から寄せられた信頼とご
期待に応えるため、岡山をもっと住みやすく、元
気な県にしていこうとの決意を新たにしたいと
思います。

現下の最大の課題である新型コロナウイルス感
染症対策はもとより、先般の県議会で議決をいた
だきました「第3次晴れの国おかやま生き活きプ
ラン」に基づき、教育の再生と産業の振興をはじ
め、結婚から子育てまでの切れ目ない支援、持続
可能な中山間地域の形成など、様々な施策を推進
し、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活
き岡山」の実現に全力で取り組んでまいります。

山本先生には、今後とも、津山市並びに鏡野町、
勝央町、奈義町、そして岡山県の発展のため、力強
いご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、山本先生の益々の活躍、
皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ
ます。



岡山県知事
伊原本 隆太



岡山県議会議員
山本 雅彦

こんにちは、山本雅彦です。

皆様には、ご清祥にてご活躍のこととお喜び申し上げ
ます。平素より、私の政治活動に対しまして、温かいご
支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

早いもので、皆様に県議会にお送りいただき7年目を
迎えます。「元氣な作州・活力ある津山圏域創り」に一生
懸命取り組まさせていただきます。コロナ禍の今、明るく
前向きに考え行動すること、さらに優しさや思いやりの
心が大切だと思います。お互いの多様性を認め、お互いが
助け合う「共生社会」の実現を目指してまいります。

東京一極集中の流れが変わりつつあります。アフター
コロナを見据え、UターンやIターンで人口減少をスト
ップさせる、また地域の魅力を磨き上げ、多くの方々に
関心を持っていただける情報発信を増やし、交流人口を
増やす政策が必要です。また私は、一次産業にチャンス
その可能性があると信じます。若い担い手の確保、ブラ
ンド化された農産品の域外への拡販等、農林業の振興に
努めてまいります。

コロナ禍というピンチを私たちの地域にとってのチャ
ンスに変える。美しい自然に囲ま
れ、良き伝統と文化に溢れる作州
に大きな発展の可能性があると考
え、国・各団体と連携した政策を
力強く前進させてまいります。

今後ともご指導とご鞭撻のほど
よろしくお祈りいたします。



竹細工「作州牛」津山民芸社

県議会だより

OKAYAMA

Vol.4

発行／山本雅彦

〒708-0036 岡山県津山市南新座34
TEL.0868-32-2922 FAX.0868-32-2955
E-mail masa-yama55@tenor.ocn.ne.jp

発行日／令和3年3月22日

ホームページも
ご覧ください!
<http://www.masahiko-y.jp>

県議会議員活動 取り組みの様子



県民一人当たりの歳入・歳出予算

令和3年度の一般会計予算総額を岡山県の人口(約190万人)で割ると、一人当たり約40万円の予算が使われることになります。

歳入		歳出	
県税 県民の皆さんが納めた税金です 約 12 万円	地方交付税等 国税の一定割合が交付されるもので自由に使えます 約 10 万円	教育や文化の振興 約 8 万円	医療・福祉の充実、健康づくり 約 8 万円
県債 施設整備などを行うために銀行などから借りるものです 約 5 万円	その他 約 5 万円	道路や河川などの整備・維持補修 約 4 万円	医療・福祉の充実、健康づくり 約 8 万円
国庫支出金 使い方を決められた上で、国から交付されるものです 約 5 万円	繰入金等 貯金(基金)の取崩しや使用料・手数料収入などです 約 3 万円	犯罪・事故の防止 約 2 万円	農林水産業の振興 約 2 万円
国庫支出金 約 5 万円	その他 約 10 万円	農林水産業の振興 約 2 万円	産業の振興 約 1 万円

一人当たり **40** 万円

役職
県議会 ◎令和元年 文教委員会 委員長 ◎令和2年 農林水産委員会 委員長
(一社)茶道農千家淡交会 津山支部長、岡山県バイコロジをすすめる会会長、
岡山県交通安全対策協議会 委員

所属議員連盟
◎岡山県建設技術議員連盟 幹事 ◎岡山県私学振興議員連盟 ◎次世代に誇れる児島湖・湾を考える議員懇談会 ◎岡山県森林・林業活性化促進議員連盟 ◎さわらの会 ◎北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を図る岡山県議員連盟 ◎がんばれ!ファジャーノ岡山県議会応援団 ◎安全・安心の岡山づくり推進議員連盟 ◎岡山県スポーツ振興議員連盟 ◎がん対策推進岡山県議員連盟 ◎岡山湯郷Belle議員会サポーターズ ◎岡山シーガルズ議員会サポーターズ ◎鳥取・岡山県境議員連盟 ◎FC吉備国際大学Charme 県議会サポーターズ ◎難病対策岡山県議員連盟 ◎書道岡山県議員連盟幹事

山本雅彦プロフィール
●生年月日:昭和34年5月30日 ●所属政党:自由民主党議員
●所属:津山青年会議所(津山JC) 特別会員、元津山観光協会青年部会員
●学歴:昭和50年3月 久米郡中央町立加美中学校卒業、昭和53年3月 岡山県立津山高等学校卒業、昭和57年3月 日本大学経済学部経済学科卒業
●職歴:昭和57年4月 第一生命保険相互会社入社、昭和59年4月 富士岡山運輸機株式会社入社、昭和60年10月 津山セントラルホテルへ配属、昭和63年6月 あいざわ一部後援会事務所入所 施設秘書となる、平成14年10月 衆議院議員選挙一部公設第2秘書採用、平成16年8月 衆議院議員選挙一部公設第1秘書採用、平成27年4月に岡山県議会議員に初当選、令和元年4月再選
●家族:妻 ●血液型:B型 ●星座:ふたご座 ●座右の銘:「畏天敬人」
●趣味:読書(歴史小説・スバイ小説)、ラーメン食べ歩き、スキー、ゴルフ

令和3年度 予算編成報告

2月定例会県議会を終えて、新年度予算案を承認させていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、大変厳しい財政状況ですが、県民の皆様と暮らしを守るため、またアタリコナを見据えた未来への備えも、しっかりと予算に反映できました。一般会計は前年度比1.8%増の759.8億2600万円、3年連続の増額の積積予算になります。

新型コロナウイルス対策は92事業、358億5千万円を計上。患者を受け入れる医療機関の支援に144億7900万円、医療機器の整備補助に12億2200万円、地域経済の維持に向けた企業のデジタル化推進に1億5000万円を充てます。

新たな県政中期行動計画「生き活(き)きラン」(21~24年度)の関連は、教育再生や産業振興など重点58事業に161億4400万円を振り向け、西日本豪雨の復旧・復興関連は、仮設住宅入居者の転居費用助成や河川改良工事といった33事業、88億2100万円。

1月15日公表の各部要求後、知事査定で7事業、4200万円を追加した。県産イチゴのブランド「晴暮(はれいち)」の生産拡大支援やPRに新規で5200万円、電気自動車(EV)の充電設備設置事業は13000万円を増額していただき2400万円を確保できま

【令和3年2月党折衝に関する知事回答】

1 新型コロナウイルス感染症対策の推進

(1) 感染拡大の防止と医療提供体制の整備

検査体制や発熱患者等の相談・診療体制の充実、クラスター対策の強化、ワクチン接種体制の確保など、感染拡大の防止に向けた取組の推進をお願いします。また、感染者の更なる増加を見据えた医療提供体制や宿泊療養体制の整備、新型コロナウイルスの影響により厳しい経営状況にある医療機関に対する財政支援、新型コロナウイルスと最前線で戦う医療従事者の処遇改善や人材確保に向けた取組の推進をお願いします。

知事回答

●感染拡大の防止については、県民一人ひとりの協力が重要であることから、引き続き新しい生活様式の徹底を呼び掛けるとともに、事業者を対象とした研修会の実施など予防に関する正しい知識の普及啓発を行うほか、感染者を早期に発見するための、発熱患者等の相談・診療・検査体制の強化を図っています。

また、福祉施設等で感染者が確認された場合、接触者への検査を幅広く実施するとともに、クラスター発生時には、速やかに現地に岡山県クラスター対策班を派遣し、感染拡大防止策を講ずるなど、早期封じ込めに全力で取り組んでまいります。

なお、ワクチンの大規模な接種体制を早期に整備するため、去る1月21日、県と市町村とで構成する「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保協議会」を発足するとともに、29日には、ワクチン対策室を設置し体制の強化を図るなど、国や市町村、関係団体と連携し、円滑に接種が行われる体制を確保してまいります。

●医療提供体制の整備については、入院患者受入病床の確保や、感染症患者を優先的に受け入れる重点医療機関の設定などに取り組んでまいりました。引き続き、医療機関等と連携し、感染拡大に備えた医療提供体制の充実に取り組んでまいります。

3 地域を支える産業の振興

(1) 新卒者等の人材の確保

Web開催の実施を増強するとともに、県内の大学を卒業する学生、特に工学系学生が県内に定着するようさらなる施策をお願いします。



知事回答

●合同就職説明会やWeb開催の実施の増強については、岡山労働局等との連携による合同就職面接会や、大学コンソーシアム岡山と経済団体との連携による合同就職説明会、対面式に加え、引き続きオンラインでも開催することにより、とりわけ県外学生等の県内企業への就職活動を強力にサポートするとともに、県内企業の人材確保を支援してまいります。

また、県内外の大学キャリアセンターと県内企業のオンライン交流会を新たに開催し、県内外の学生等と県内企業のマッチングを促進してまいります。

●就活中の学生に対しては、企業見学バスツアーやWeb座談会について、新たに工学系学生等のコースを新設し、県内優良企業の現地視察等を通じて、学生に岡山の魅力を肌で感じてもらうとともに、大学コンソーシアムや就職支援協定締結大学等と連携したマッチングフェア等を通じて、県内企業へのインターンシップの参加を促すなど、県への人材の選流と定着を進めてまいります。

(2) 農業生産基盤等の整備と多様な担い手の確保・育成

●農業者等の県内定着については、本県産業の持続的発展のために大変重要な課題であることから、「企業+大学との共同研究センター」を活用し、大学等と共同研究を行う企業に学生を派遣し、現場体験を通じて企業の理解を深めてもらうなど、本県ものづくり産業の魅力を知ってもらう取組を積極的に進めてまいります。

知事回答

●農業生産基盤等の整備については、食料の安定供給はもとより、農山村の安全・安心な地域づくりや、農地や農村の有する多面的機能を維持・増進していくために重要な施策であると考えています。このため、国の動向や地域の実情を踏まえ、市町村等と連携しながら、ため池の防災・減災対策をはじめ、担い手への農地の集積・集約化を促進する基盤整備や農業水利施設の長寿命化対策に計画的に取り組んでまいります。

●新規就農者の確保・育成については、担い手の育成拠点である三徳園を活用し、市町村・農業団体との連携のもと、就職希望者が産地で就職するまでの体制を整備するほか、就職相談会の開催、就職研修の実施、新規就農者の早期経営確立への支援、国の農業次世代人材投資事業の活用などにより、参入から定着までの総合的な支援を行ってまいります。

また、ハイブリッド産地育成推進事業や、白桃及びぶどうの供給力強化対策事業に取り組む中で、新規就農者の確保に向けた研修場の設置等の受入体制整備を支援するなど、果樹産地における担い手対策を重点的に推進してまいります。

●認定農業者等の確保・育成及び集落営農の組織化・法人化については、市町村や農業団体等と連携して推進しているほか、三徳園に開設している農業経営相談所による支援を行っており、引き続き、中小企業診断士や税理士等の専門家による経営改善や法人化の指導、さらには、農地中間管理機構を通じて農地集積、制度資金の活用など総合的な支援に取り組んでまいります。

●林業については、今年度整備した林業技術研修施設を活用して、森林整備から木材利用へわたる人材育成を図るとともに、引き続き、国の研修制度の活用や、林業業相談会の開催、インターンシップの実施等に取り組む、担い手の確保・育成を図ってまいります。

●医療機関に対する財政支援については、国の交付金を最大限に活用し、病床確保や院内感染防止対策に係る経費の補助など、幅広く実施してきました。今後も、国と連携し、医療機関への適切な支援に取り組んでまいります。

●医療従事者の処遇改善や人材確保については、危険手当の補助や宿泊費の助成などの処遇改善や、ナースセンターを活用した看護師の確保に取り組んでおり、引き続き、関係団体等と連携し、医療従事者の人材確保に努めてまいります。

●宿泊療養体制の整備については、現在、アパホテル岡山駅前を確保し、運用している。人員体制については、感染者の増加に伴い、看護師を昼間3名、夜間2名に増員しており、療養者の生活支援等のために、県職員に加え、昼間2~5名、深夜1名民間の派遣職員を増員しており、今後とも必要な宿泊療養体制の整備に努めてまいります。

なお、今後の感染状況を見極めながら、2施設目も検討してまいります。

(2) 中小企業・小規模事業者に対する支援

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい状況にある中小企業・小規模事業者が、健全かつ安定的に事業を継続し、雇用に維持できるよう支援を強化するとともに、デジタル化への対応など新たな取組への支援をお願いします。

知事回答

●6,000万円に引き上げたところであり、引き続き、企業の資金繰りを支えるとともに、企業のデジタル化に必要な設備の導入や、宿泊施設等の新しい生活様式に対応した設備改修の支援などに取り組んでまいります。

また、企業が抱える様々な課題に対して、県中小企業支援センターが核となり、関係機関と連携して支援し、事業が継続できるよう体制強化に取り組んでまいります。

さらに、一時的に雇用過剰となった企業と人手不足の企業との在籍型出向を促進するためのマッチング支援サイトを構築するなど、国や関係機関と連携し、雇用の維持に向けた取組を強化してまいります。

2 教育県岡山の復活

(1) GIGAスクール構想の推進

通常の授業はもとより、臨時休業中や不登校対策など、様々な場面でICTを活用した新たな学びの実現が求められています。教員のICT活用指導力の向上、学校・家庭のネットワーク環境整備に向けた支援など、1人1台端末の活用に向けた取組の充実・強化をお願いします。

知事回答

●教員のICT活用指導力の向上については、児童生徒1人1台端末の活用に向けて、授業で活用するための教員用の1人1台端末を今年度新たに整備したところであり、県教委では、これらを活用した授業づくりのオンライン研修の実施や、指導主事が学校を訪問しての校内研修や支援等を行っていただくことである。また、市町村に対しては今年度県教委で作成したICT活用事例集を参考に、来年度に向けては、大学教授等のアドバイザーの指導助

(3) 県産材の利用促進

県内の森林資源は充実してきており、丸太の生産量はヒノキを中心に増加傾向にあるものの、製材品の出荷量は減少傾向にあるため、建築物の木造・木質化や公共工事等への県産材の積極的な利用、大規模建築物等に使用されるCLTの原料としての県産材の利用促進をお願いします。

知事回答

●木造住宅をはじめ、公共建築物や展示効果の高い民間建築物の木造・木質化への県産材の利用促進、国内外での販路拡大等に取り組むとともに、県産材利用促進指針に基づき、コスト面にも配慮しながら、公共工事への県産材の利用を促進してまいります。

また、関係機関と連携して、CLTの普及PRを図るとともに、CLTの原料としての県産材の利用促進に向け、コスト削減や原材料の安定供給体制の整備に取り組んでまいります。

4 安心で豊かさが実感できる地域の創造

(1) 安全・安心の県土づくりの予算確保

真に必要な社会資本整備や国土強靭化に向けた防災・減災対策を計画的に推進するため、公共事業予算の総額確保をお願いします。

知事回答

●安全・安心の県土づくりの予算確保については、平成30年7月豪雨以降、災害からの復旧・復興に向け、被災した公共土木施設の復旧事業や、河川の改良復旧事業等に全力で取り組んできたが、これらに加え、来年度から新規に要求している水害軽減対策加速事業により、河川管理等の強化や、河川以外の対策とも連携した事前防災対策を強力に推進してまいります。

また、本県の社会・経済を支える道路や港湾などの社会資本整備についても、着実に取り組んでまいります。

(2) 中山間地域の振興

中山間地域では、急速な人口減少や高齢化の進行により、地域社会の活力が失われつつある状況となっています。住民が安心して暮らしていることができないよう、地域活動を担う人材の育成・確保や組織づくり、ICTを活用した移動手段や買い物等、日常生活に必要なサービスの確保など、市町村等の主体的な取組を県が積極的に支援し、中山間地域の振興を図るようお願いします。

知事回答

●中山間地域では、人口減少や高齢化の進行や新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、集落機能の低下や生活面での不安の増大など、地域社会の活力が失われつつある地域づくりをよう目指し、このほど中山間地域活性化基本方針を改訂したところである。

●基本方針では、中山間地域の潜在力を生かしながら、人づくり・組織づくり、生活基盤づくり、地域経済の振興に一体的に取り組む、地域に暮らす人々の将来に対する不安解消を図り、持続可能な中山間地域の形成を目指すこととしている。

●学校・家庭のネットワーク環境整備に向けた支援については、県立学校では、今年度中に、高速大容量の校内通信ネットワークの整備やインターネット接続回線の増強を図ることとしている。また、経済的な理由によりICT環境が整っていない家庭に対して貸出用のモバイルルーターなどを各給付金において通信費相当額を増額している。市町村においても、配備された端末が円滑に活用されるための通信環境の整備等を検討しており、市町村へのICT環境整備のためのさらなる財政支援について、国に要望している。

●学校・家庭・地域の教育力の向上による夢を育む教育・キャリア教育の推進については、「おかもや創生小中学校パワーアップ事業」において、小中連携による系統的なキャリア教育の推進体制の構築を促進するとともに、小学生が地域と連携し、地域の特色を活かした魅力づくり等を行う取組をフォローアップで発表し、優れた取組を表彰する「晴れの国おかやま学びたい賞」を今年度から実施しており、さらに充実を図ってまいります。

また、放課後子ども教室やおかやま子ども応援人材バンクなどを活用して地域の方と子どもたちが触れ合う場を設け、地域と学校とが協働したキャリア教育の推進を図っており、さらに来年度から、家庭の教育力の向上を図るため、子どもの非認知能力を育む研修プログラムを開発する「就学前の非認知能力育成支援事業」を実施することとする。

これらの取組を通して、子どもたちが将来の夢や目標を持ち、その実現に挑戦することで、意欲や自信などの自分を高める力の育成に取り組んでまいります。

(2) 学ぶ力の育成に向けた取組

●学校・家庭・地域の教育力の向上による夢を育む教育・キャリア教育の推進については、「おかもや創生小中学校パワーアップ事業」において、小中連携による系統的なキャリア教育の推進体制の構築を促進するとともに、小学生が地域と連携し、地域の特色を活かした魅力づくり等を行う取組をフォローアップで発表し、優れた取組を表彰する「晴れの国おかやま学びたい賞」を今年度から実施しており、さらに充実を図ってまいります。

また、放課後子ども教室やおかやま子ども応援人材バンクなどを活用して地域の方と子どもたちが触れ合う場を設け、地域と学校とが協働したキャリア教育の推進を図っており、さらに来年度から、家庭の教育力の向上を図るため、子どもの非認知能力を育む研修プログラムを開発する「就学前の非認知能力育成支援事業」を実施することとする。

これらの取組を通して、子どもたちが将来の夢や目標を持ち、その実現に挑戦することで、意欲や自信などの自分を高める力の育成に取り組んでまいります。

知事回答

●外部人材の活用による教員の子ども向き合う時間の確保については、教員の勤務負担軽減を図るため、教師業務アシスタントを配置してきたが、この事業に対する現場のニーズは非常に大きく、また効果も出ていることから、引き続き実施することとしている。さらに、これまで配置基準を満たしてはなかった取組を、新たに県立の中・中等教育学校への配置についても検討してまいります。

また、部活動指導員を平成30(2018)年度から市町村立中学校に、令和元(2019)年度から県立学校に配置しており、これまでの配置の成果や国の動向等を踏まえ、来年度は県立学校への配置人数を拡充することとしている。



●この基本方針に基づき、中山間地域対策を総合的に推進するため、引き続き、中山間地域等振興特別事業として、当初予算要求の中で7億円を要求するとともに、生き活き拠点強化支援事業にも取り組むこととしている。

(3) 子育て支援環境の充実

子育てに対する不安や負担の解消を図り、すべての子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくりを推進するため、妊産婦の切れ目ない支援や乳幼児期における教育・保育、地域のニーズに応じた様々な子育て支援の充実、新型コロナウイルス感染症の影響が深刻化している、経済的な困難や虐待など、困難を有する子どもやその家族の把握ときめ細かな支援の推進をお願いします。

●乳幼児期における教育・保育の充実については、質の高い教育・保育の総合的な提供に努めるとともに、保育の量的な確保、教育・保育の質的改善に努めているところである。

特に、保育士の確保に向けては、県保育士・保育所支援センターに、今年度、導入した「保育士就職マッチングシステム」を活用し、潜在保育士の登録者を増やし、保育所等への就労を促進している。また、保育士養成施設とも連携し、養成校在学生が卒業生を訪問する機会を支援するなど、県内保育所等への就職率向上に向けた取組を実施してまいります。

さらに、保育士の資質向上や処遇改善にもつながる保育士等キャリアアップ研修については、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、全てをオンラインで今年度より実施したところであり、来年度は新型コロナウイルス感染症の影響が予想されることから、保育士の方々が、安心して受講できるように、実施体制を整えてまいります。

知事回答

●困難を有する子どもやその家族の把握ときめ細かな支援については、市町村の専門職員が保育所等を巡回することで、困難を抱えた子どもや家庭を早期に把握し、必要な支援につなげる。また、必要に応じて取り組むとともに、ひとり親家庭支援センターにおける就労相談等を通じて、ひとり親家庭の自立を支援してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、潜在化が懸念される児童虐待の防止対策については、すべての市町村の要保護児童対策地域協議会において、子どもの見守りを行って、子どもの見守りを行って、定期的な状況確認を働きかけることにも、専門家の派遣を通じた市町村の対応力の向上などに取り組む、児童虐待を早期に見出し、適切な支援につなげるよう努めてまいります。



【あなたも県政に参加しませんか?】 県の予算や条例がどのように決められているか、本会議・委員会を傍聴・視聴できます。また、インターネットでも議会中継を見ることができます。

本会議を傍聴しよう!

本会議の様子は、議会の傍聴席から、どなたでも見学できます。本会議当日、議会棟1階で受付をし、傍聴券を受け取ってから入場してください。

- 開会時間/午前10時 (時間は事前にご確認ください。)
- 定員/95人 (先着順)

※傍聴席での飲食や喫煙、その他議事の妨害となるような行為はできません。

インターネットで議会中継を見よう!

本会議の様子は、インターネットでライブ中継と録画映像の配信を行なっています。パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でも見ることができます。録画映像は、原則として、ライブ中継終了後3日程度(土・日、祝日を除く)でご覧になれます。

岡山県議会 インターネット中継 検索

※通信事業者のポケット通信料がかかる場合もありますので、通信事業者のポケット定額制サービスなどへ加入後のご利用を推奨します。

委員会をモニター視聴しよう!

委員会の様子は、議会棟2階の視聴室で、どなたでもモニターテレビにより視聴できます。委員会当日、議会棟1階で受け付けをし、視聴券を受け取ってから、2階の視聴室にお越しください。

- 開会時間/午前10時 (時間は事前にご確認ください。午後には開催される場合もあります。)
- 定員/36人 (先着順)

※視聴するときは注意事項を守り、静かに視聴してください。

議会見学で、議会の雰囲気を感じよう!

県議会を身近に感じていただけるよう、議場の見学を受け付けています。実際に議員席に着席し、議会の雰囲気を感じながら、議会の役割や仕事などについて説明を受けることができます。見学は、学校や学級、自治会などのグループ単位で、事前にお申し込みください。

※原則として、土・日、祝日、年末年始(12/29~1/3)、定例会・臨時会会期中などは見学できません。